

2 県立高等学校の入学者選抜に関する調査 ＜推薦入学者選抜＞

資料

調査対象・時期 中学校長 64名（中学校187校中、64校を抽出して調査）平成22年5月～6月
 高等学校長 73名（全ての県立高等学校長に対し調査）平成20年3月

推薦入学者選抜について

(1) 応募資格

現行：岩手県内の中学校、若しくは特別支援学校中学部を卒業見込みの者、又は前年度卒業生で、合格した場合入学を確約でき、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収め、当該高等学校の教育を受けるに足る能力・適性を持ち、各高等学校の推薦基準を満たしている者

		中学校長		高等学校長		全体(%)
		人	%	人	%	
ア	現行どおりでよい	44	68.7	49	63.6	70.0
イ	教科において優れた能力・適性を持つ者も応募資格としたほうがよい	12	18.8	9	11.7	14.9
ウ	スポーツ、文化、芸術等で顕著な成績を収めた者のほか、各専門学科の特色を生かせるような応募資格としたほうがよい	/	/	10	13.0	/
エ	その他	8	12.5	9	11.7	12.1

(2) 募集定員

現行：定員の10%。ただし、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系は50%以内

		中学校長		高等学校長		全体(%)
		人	%	人	%	
ア	現行どおりでよい	56	87.5	34	46.6	65.7
イ	上限を高くした方がよい	2	3.1	14	19.2	11.7
ウ	上限を定めず学校裁量とする	4	6.3	10	13.7	10.2
エ	その他	2	3.1	15	20.5	12.4

(3) 推薦入学者選抜に関する意見

- ・生徒の個性伸長、各高等学校の特色ある学校づくりを強化する意味で、学校の裁量を大きくするべきである。
- ・自己推薦制度にしたほうがよい。
- ・各高校の推薦基準の中で、学力の一定レベルを示したほうがよい。
- ・得意教科や生徒会での活動を生かすことができる基準を加える。
- ・スポーツの場合、大規模校が有利であり不公平感がある。
- ・推薦は、体育系、芸術系、専門高校のみとする。
- ・学科枠でなく学校枠での募集も認めてほしい。
- ・推薦入学者選抜で合格した生徒についても、一般入学者選抜日に学力検査を課した方がいい。
- ・県外からの受検を認める。
- ・推薦にまつわるトラブルがあるため、廃止して公平に同じ入試で選抜したほうがよい。
- ・推薦入学者選抜については、生徒の能力発揮の視点としてこのまま継続してほしい。
- ・すべての推薦において授業態度、生活態度を基本にした上での推薦入学制度であってほしい。